

- 1) H20. 4月「女性専門外来」から、「性差医療センター」となりました。臨床では、女性特有の病態、日常生活の不調などに注目し、患者のQOLを上げることがを目標としています。
- 2) 性差に基づく県民への健康支援また地域啓発活動を行います。
- 3) 性差医学という概念は日本において門戸が開いたばかりです。あらゆる病態に興味をもち、性差医療に関する研究を行います。

## 指導医（スタッフ）紹介



部長(講師)  
小宮ひろみ

昭和55年 福島県立安積女子高等学校卒業  
昭和61年 山形大学医学部卒業

- 臨床専門分野
- 1) 生殖内分泌
  - 2) 不妊
  - 3) 性差医療
- 研究分野
- 1) 生殖内分泌



副部長(助教)  
渡辺久美子

福島県立福島女子高等学校卒業  
平成 8 年 北里大学医学部卒業

- 臨床専門分野
- 1) 乳腺外科
  - 2) 性差医療
  - 3) 漢方診療
- 研究分野
- 1) 乳癌の乳管内伸展の研究

## 主な業務内容、メッセージ等

完全予約制で30分の診察枠をとり、内科、外科、心身医療科、婦人科、皮膚科、泌尿器科の女性医師が担当します。患者の訴えを傾聴し、その後、必要な検査・治療を行います。複数科の女性医師が担当していることから連携を密にするとともに、専門診療科での治療が必要である場合は紹介いたします。

開設以来、乳癌、更年期障害、うつ、漢方などの院内職員向けに勉強会の開催や、年に1回医療関係者及び一般県民を対象に、「福島県性差医療セミナー」を開催し性差医療への理解を深めています。

「性差医療」とは

- 1) 男女比が圧倒的にどちらかに傾いている病態
  - 2) 発症率は同じでも男女間で臨床的に差をみるもの
  - 3) いまだ生理的、生物学的説明が男性、女性で遅れている病態
  - 4) 社会的な男女の地位と健康の関連などに関する研究
- 以上の説明をすすめ、疾病の診断、治療法、予防措置に反映する医療です。

当センターでは「性差医療」をEvidence-based medicineとして発展させること、及びNarrative-based medicineを実践し患者に寄り添う医療を提供することを目指します。また、性差医療には多くの研究テーマが残されています。これまでの医療を性差という観点から見直してみませんか？ 新たな発見があるかもしれません。